

主催：同志社大学一神教学際研究センター (CISMOR)

共催：同志社大学神学部・神学研究科

公開講演会

平和のための教育とは

-イスラエルと日本の中学生調査の比較から-

原爆が落とされた歴史がある日本と、ホロコーストの惨禍の歴史があるイスラエルにおける「平和のための教育」を比べます。第二次世界大戦は子どもたちにどのように伝えられ、彼らはいかなる平和意識を持ち、平和な社会や国際関係をどのように形成しようとするかについて、中生意識調査を基に考えます。

【講師】

村上 登司文

京都教育大学教育学科教授、研究推進担当副学長。
専門は教育社会学・平和教育学。英国で平和学を学んで平和教育の比較研究を始め、平和教育の社会学的研究を行っている。

著書に、『いま平和とは何か－平和学の理論と実践』（共著、法律文化社、2011年）。単著として、『戦後日本の平和教育の社会学的研究』（学術出版会、2009年）、などがある。



日時：2019年1月21日（月）16:40-18:10

会場：同志社大学今出川キャンパス 寧静館5階会議室

※京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」下車3番出口徒歩3分

お問い合わせ

同志社大学 一神教学際研究センター

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL 075-251-3972 / E-mail rc-issin@mail.doshisha.ac.jp

使用言語：日本語

入場無料 事前申込不要